

\*\*\*\*\*

やらまいか@gri forest ニュース 340号  
(2023年11月15日配信)

\*\*\*\*\*

## 【目次】

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- 1 「ミライの農業をつくる農家の背伸び塾」(農林水産省事業)について
- 2 畜産堆肥展示会の開催について

### ■--お知らせ--■□■□■

- ・11月は薬剤耐性対策普及月間です

### ■--お出かけ情報--■□■□■

- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム企画展について

### ■--西部農林活動リポート--■□■□■

- ・西部農林活動リポート(10月)

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- 1 「ミライの農業をつくる農家の背伸び塾」(農林水産省事業)について

平日の夜にオンラインで開催、単発受講も連続受講もOK! 受講料は無料で、定員なし!  
講義は専門家講義と現役農家による事例紹介の2本立て!  
この研修を受講することで今抱えている不安や課題を解決するヒントを見つけ、新しい一歩を踏み出していきましょう  
終了してしまった講義は無料でアーカイブ受講が可能です!

#### ●講義日程(全5回)

- ・第1回 2023年11月7日(火)・・・終了(アーカイブ受講可能)
- ・第2回 2023年11月22日(水)
- ・第3回 2023年12月6日(水)
- ・第4回 2023年12月20日(水)
- ・第5回 2024年1月17日(水)

#### ●内容

- ・第1回11月7日(火)「収益力の向上」・・・終了(アーカイブ受講可能)  
農業経営における経営戦略とマーケティングの重要性を学びます
- ・第2回11月22日(水)「働きやすい労働環境の整備」  
安定雇用の鍵は労働安全と労務管理。ポイントと実践のヒントを学びます

・第3回12月6日(水)「多様な主体の活躍につながる農業経営」  
多様な人材の活躍が経営向上へ。農福連携事例から多様性を活かす経営を学びます

・第4回12月20日(水)「生産性向上」  
農業界の課題を理解し、生産性向上の考え方や手段を実践例から学びます

・第5回1月17日(水)「環境配慮型農業」  
農業での環境配慮の必要性和経営の持続性向上の方法を探ります

●タイムテーブル

18:40 受付開始  
19:05 講師による講義  
19:50 実践農家による講義  
20:20 質疑応答・クロストーク  
21:00 終了

講義終了後、自由参加の交流会が行われます。  
お気軽にご参加ください。

●申込み方法

以下のページよりお申込みください。

<https://agri-innovation.jp/future-agri-r5/active>

●その他

当研修はアーカイブ受講が可能です。

なお、アーカイブ受講では講師や実践農家への質問等ができないため、質問したい方はリアルタイム受講をお勧めします。

<リアルタイム参加の募集期間>

各回実践日の2日前までにお申し込みください。

<アーカイブ受講>

お申し込みの方に、動画URLとワークシート等を送付いたします。お好きなタイミングでご受講ください。

無料でお使いいただけますが、受講後にアンケートをお願いします。

- ・アーカイブ受講は随時お申し込みを受け付けています
- ・動画は2024年3月31日までご視聴いただけます

---

## 2 畜産堆肥展示会の開催について

---

肥料代の削減に堆肥の利用を考えてみませんか？

相談会も併せて開催されますので希望者はお気軽にご参加ください。

●実施日時等について

<第1回>

- ・日時 12月4日(月) 13:00~16:00
- ・会場 JAとぴあ浜松北地区支店 会議室(浜松市西区伊左地町21)
- ・講演会 畜産堆肥について(13:30~13:50)
- ・講師 静岡県畜産技術研究所 飼料環境科 佐藤克昭科長

<第2回>

- ・日時 12月12日(火) 13:00~16:00
- ・会場 JAとぴあ浜松湖西宮農センター 会議室(湖西市新所5225)
- ・講演会 畜産堆肥について(13:30~13:50)
- ・講師 静岡県畜産技術研究所 飼料環境科 佐藤克昭科長

●相談会について

相談会も併せて開催されます(14:00~15:00)

●申込みについて

事前申込み不要

●問合せ先

静岡県西部農林事務所 企画経営課  
TEL 053-458-7209

■--お知らせ--■□■□■

- 
- ・11月は薬剤耐性対策普及月間です
- 

畜産生産者の皆さま、「薬剤耐性」という言葉をご存じですか？

薬剤耐性とは、抗菌剤(抗生物質など)を不適切に使用することによって、細菌を殺したり生育を止めたりする効果がなくなることを行います。

そして、薬剤耐性を獲得した薬剤耐性菌は抗菌剤が効かず、病気が治らない・治りにくい状況を引き起こしてしまいます。

抗菌剤は人の治療だけでなく、家畜に対しても様々な用途で使用されており、家畜の健康を守るためには必要不可欠なものとなっています。

しかしながら、薬剤耐性菌が広がってしまうと、家畜の病気が治らないだけでなく人の病気の治療を困難にすることが懸念されます。

薬剤耐性問題には、獣医療従事者、畜産生産者、ペットの飼い主、人の医療従事者などの様々な立場にある関係者が、垣根を越えて協力していく必要があります。

11月は薬剤耐性普及月間です。

今一度、抗菌剤を正しく使えているのかを見直してみましょう。

YouTubeで動画が公開されておりますので、是非ご覧ください。

<畜産生産者の皆さまへ 薬剤耐性菌をご存じですか？(30秒ver)>

→ <https://youtu.be/kgAR6Z1cw-g>

抗菌剤を正しく使用し、「健康で美味しい」を未来へつなぎましょう！

●詳しくはこちら(農林水産省HP)

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/torikumi.html>

■--お出かけ情報--■□■□■

- 
- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム企画展について
- 

私たちの主食として当たり前のようにそこにある米。



